

**21世紀の情報社会に対応した学校づくりの
観点から、情報教育の推進と基盤の整備に
ついて**

林 茂

〔質疑〕高度情報通信ネット

ワーク社会が進展していく中で、子どもたちがコンピューターやインターネットを活用して情報社会に主体的に対応できる情報活用能力を育成することは、今日では非常に重要なことである。

① 情報化に対応した教職員用コンピュータの整備状況

況について

② 教職員の具体的なコンピュータ活用状況と今後の方針について

③ 個人情報流出がたびたび話題になるが、子どもたちの個人情報はどうよう管理されているのか。

〔答弁〕①各学校に1台だけ整備した。

新たな市町村合併構想について

吉田 貞子

〔質疑〕県は「分権時代の市町村支援プラン」を策定。新たな市町村合併推進構想を作成しようとしている。当市に関わっては、仙南2市7町の枠組みが提案されている。これによれば、人口19万1千138人、面積1、551kmの市となる。

この動きの中で、県知事と仙南2市7町の首長の円卓会

議が開催されている。この円卓会議に出席しての印象は？市長はどのような姿勢でぞんだのか？

市町村合併に対して、どのような見解を持っているか。

〔答弁〕円卓会議の内容は、「自主的な市町村合併の推進に関する構想」の内容について、県の基本的な考え方の説

② 先生方はコンピューター操作について相当な機会があつて、技術的にもだんだん力がついてきた。今年度から第1

小学校、第2小学校には、インターネットによる教育ソフトを導入したので、授業の調べ学習等に相当に大きな効果を発揮しているという報告を受けている。課題は、先生方の間に技術的な操作面でのレベルに差があるということである。校内研修及び教育委員会が主催するコンピューター技術研修の二本立てで、研修

を計画している。

③ 個人情報を含むデータを適切に管理するために各学校に管理者というものを置いて、その管理者を中心に情報の漏洩がないように防止策を考えていただいている。学校から情報を持ち出さないようにするためのある程度のコンピューターの台数の必要を感じているので、検討が終わり次第、市長部局と要望をしながら検討していきたい。

〔その他の質問〕
① 教育行政について

立の道を選ぶことを選択したばかりで合併論議を議題にする環境ではないと認識しているし、会議の席でも積極的な

話は聞こえてこなかった。

〔その他の質問〕
① 白石簡易保険加入者ホームについて



教職員用コンピュータ